

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰式 概要

1 趣 旨

農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して経営・社会参画の優良な取組を行っている個人や団体を表彰し、その活動事例を広く紹介することにより、北陸地域における男女共同参画の一層の機運の醸成と、女性による農林水産業・農山漁村の活性化の取組を促進することを目的に開催しています。

2 開催日時 令和7年12月16日（火）13：45～14：15

3 開催場所 北陸農政局 1階 共用大会議室（金沢広坂合同庁舎）

4 主 催 農林水産省北陸農政局

5 内 容

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰式
北陸農政局長から4名、1団体へ北陸農政局長賞が授与されました。

<式次第>

- (1) 開式
- (2) 北陸農政局長式辞
- (3) 北陸農政局長賞授与
- (4) 閉式

<北陸農政局長賞受賞者>

新潟県村上市	加藤 雪子（かとう ゆきこ）氏
新潟県新発田市	櫻井 美代子（さくらい みよこ）氏
富山県富山市	池田 薫（いけだ かおる）氏
石川県金沢市	農事組合法人 蓮だより（はすだより） 川端 美希子（かわばた みきこ）氏
福井県あわら市	有限会社 黒川産業（くろかわさんぎょう）



（左から）加藤雪子氏、櫻井美代子氏、池田薫氏、植野局長、川端美希子氏、（有）黒川産業 黒川公美子氏

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

加藤 雪子 氏

新潟県村上市

農家レストラン「ころまい」を経営 (平成26年～)

築160年の自宅を改装し、地元・大毎(おおごと)集落産の米や野菜、山菜を使った料理を提供。肉や魚を使わない旬のメニューが好評で、店内での特産品販売を通じて集落の農家所得向上にも貢献。使用する米は、夫が育てる「大毎心米」であり、平成名水百選に選定された「吉祥清水」で栽培している。



地域活性化と女性の活躍推進

令和4年より新潟県農村地域生活アドバイザー連絡会会長に就任。新規会員獲得に尽力し、3年間で14名を認定に導いた。令和5年からは県内各地でマルシェを開催し、会員の所得向上と交流促進を実現。経営する農家レストランでは、柔軟な勤務体制を整備し、地域の女性が家庭と仕事を両立しながら活躍できる仕組みを構築することで、地域活性化に貢献している。

次世代育成と食育活動

地元小学生に農作業体験を提供し、自然や食文化の大切さを伝え、地域とのつながりを深めている。また、大学生のインターンシップ受入を通じて、農業の魅力を発信し、担い手育成に貢献している。

地域イベントと交流促進

女性グループ「ハッピーフラワー」会長として、集落行事の企画・運営を担当。名水まつりの復活や新イベントの実施に向けて地域と連携。コロナ禍では世代間交流を目的に食育イベントを開催している。



農家レストランで提供する料理



マルシェ参加時の様子



地元小学生の農作業体験

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

櫻井 美代子 氏

新潟県新発田市

農業委員活動と食農理解促進

平成23年から9年間、農業委員として農地の集積・集約化に関する相談対応や農地転用の調整を行い、地域農業の維持・向上に寄与。女性の視点を生かした地域農業の発展に取り組んできた。さらに、平成10年度に新潟県農村地域生活アドバイザーに認定され、食や農の理解促進に関する行政活動に関与し、地域と関係機関をつなぐ役割を担っている。



地域女性リーダーとしての活躍

旧JA北越後(現JA北新潟)女性部において平成25年度から支部長を務め、部長や新潟県女性組織協議会会長など組織の中核を担う役職を歴任。JA合併後も新組織でリーダーシップを発揮し、農村女性の参画促進に尽力。農村女性の活動参加が減少する中、部員の意見を反映したイベントや交流の場を企画し、女性が主体的に活動できる組織づくりを推進。令和5年度には、JA新潟女性協創立70周年記念事業を会長として成功に導き、女性組織の結束強化に貢献。

食育と次世代育成への取組

平成30年に始めた保育園・幼稚園訪問活動は、現在18園へ拡大。幼少期に米食の大切さや美味しさを伝え、紙コップでおにぎりを作るなど五感を使った体験を提供し、食と生産のつながりや作り手への理解を深める機会となっている。さらに、夏休みには小学生親子向け「子どもクッキング」を開催し、地元食材を使った調理体験で食文化理解を促進している。



北新潟女性部設立総会の様子



記念事業式典挨拶



保育園への訪問活動

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

池田 薫 氏

富山県富山市

養蜂を通じた 地域ブランド化と事業展開

平成22年に養蜂家の記事をきっかけに就農を決意し、翌年養蜂を開始。その後、直売店舗「はちみつや」を開設。キッチンカーで「はちみつレモン」などを販売している。県内外のイベント出店や洋菓子店との取引を拡大し、地域経済の活性化に貢献。令和6年には、NPO法人みつばち協会理事長に就任し、地域ブランドの確立に向けて取り組む。



若手養蜂家育成と施設園芸との連携

養蜂場を教育の場として提供し、巣箱設置から採蜜までを指導。16組の若手養蜂家を育成し、技術継承に貢献。さらに、いちご農家などに交配用蜂を供給し、受粉効率化と高品質果実生産を支援、地域農業の発展に寄与。

消費者との交流と啓発活動

親子で楽しむミツロウキャンドル作り体験を開催し、蜂や自然環境への理解を深める場を創出。直売店舗はちみつやでは「みつばちと共にある暮らし」をテーマに、自然との共生を感じられる空間を提供している。

情報発信と次世代育成

SNSで商品やイベント情報を発信し、養蜂の魅力や楽しさを広く伝えている。写真撮影や投稿技術の講習会への参加を周囲に斡旋し、情報発信力と経営スキル向上を積極的に支援している。



イベント出店の様子



呉羽山の養蜂場



キッチンカー

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

農事組合法人 蓮だより 川端 美希子 氏

石川県金沢市

規格外れんこんを活かした 持続可能な取組

平成18年に夫の脱サラをきっかけに農業を手伝い始め、平成22年に本格的に就農。平成24年には自社加工場を整備し、規格外れんこんを活用した「レンコンチップス」の販売を開始。パリッとした食感と自然な甘みが好評で、多くの消費者に愛されリピーターも増えている。



女性農業者グループでの活動

平成25年に「石川なないろ～I☆M☆J～」発足メンバーとして活動開始。農作業に従事する女性の悩みから生まれた“口に入っても安全なハンドクリーム”を県内化粧品メーカーと共同開発し、累計販売本数5,000本を達成。平成31年からは「金沢農女」発足メンバーとして活動を開始し、バターナッツかぼちゃを使ったジェラート店とのコラボなど、農業の楽しさを発信。今年度は役員に就任し、女性が活躍できる環境づくりに尽力。

農産物の魅力発信と販路拡大

レンコンチップスをはじめ、カレーやピクルスなど加工品を開発し、加賀れんこんのブランド力向上に貢献。首都圏のマルシェにも積極的に参加し、地域農業の新たな可能性を追求している。

多様な人材育成と経営の工夫

外国人実習生を受け入れ、作業指導や生活面のサポートで安心して働ける環境を整備。梱包・出荷やPOP制作に工夫を凝らし、女性ならではの視点で経営改善に貢献。



レンコンチップス



イベント出店時の様子



共同開発品

令和7年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰 受賞者の活動概要

有限会社 黒川産業

福井県あわら市

福地鶏ブランドの確立と 養鶏事業の発展に向けた取組

代表の公美子氏は、平成28年に福地鶏推進協議会会長に就任し、生産計画やブランド方針を主導。生産者間の連携強化やブランド価値向上に向け、協議会活動や情報発信にも力を注いでいる。また、鶏の健全性を重視し、地元の規格外野菜を飼料に活用するなど、地域資源の循環に取り組んでいる。



農畜産物の魅力発信と販路拡大

規格外卵を活用したプリンやカステラ、カレーなどの加工品を開発し、福地鶏ブランドの価値向上に貢献。キッチンカーで県内イベントに積極的に出店し、消費者との対話を通じて商品改良を進める。ふるさと納税返礼品やネクストブレイク商品にも認定され、地域農業の新たな可能性を追求している。

食文化の継承と食育活動

地域中学校の文化祭で郷土料理と福地鶏を組み合わせたメニュー開発を支援し、食文化の理解促進に寄与。イベントや学校での食育活動を通じて、「いのちをいただく」意識や食への感謝を伝え、子どもたちの食意識醸成に貢献している。

職場環境と次世代育成

加工部門では女性の視点を活かし、安心安全な商品づくりを推進。性別を問わず意見を尊重する職場環境を整備。娘の友紀子氏は外部評価委員や大学特任講師として専門性を発揮し、インターンシップ受入により若手育成にも尽力している。



福地鶏



キッチンカー



6次化商品